

# 2

## 教育・文化

未来を拓く人と  
多様な文化を育むまち



## 施策 1 学校教育

「生きる力」の育成と  
学習環境の向上

- 取組 1 ▶ 確かな学力の向上・相談支援体制の充実と教職員の働き方改革
- 取組 2 ▶ 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進
- 取組 3 ▶ 変化の激しい社会を生き抜く能力の育成
- 取組 4 ▶ 教育環境の充実と地域とともにある魅力ある学校づくり

## 施策 2 高等教育等

大学等との連携による  
将来を担う人材の育成

- 取組 1 ▶ 教育機会の確保と教育機関等との連携の推進
- 取組 2 ▶ 自分らしい生き方を実現するための教育の充実

## 施策 3 生涯学習

学びの機会の充実と  
地域・家庭の教育力向上

- 取組 1 ▶ 循環型の生涯学習社会の構築と社会教育環境の整備・充実
- 取組 2 ▶ 家庭や地域の教育力の充実

## 施策 4 文化・芸術

多様な文化・芸術の推進

- 取組 1 ▶ 文化・芸術の次世代への継承と関連施設の魅力向上
- 取組 2 ▶ 文化・芸術事業による交流人口の拡大とにぎわい創出

## 施策 5 青少年育成

青少年の健全育成の推進

- 取組 1 ▶ 青少年の健全育成のための活動の推進
- 取組 2 ▶ 青少年の成長を支援する環境づくりの推進

## 施策 6 スポーツ

誰もが親しめるスポーツの推進

- 取組 1 ▶ スポーツへの参加機会の充実と関連施設の整備・改修
- 取組 2 ▶ 競技スポーツの強化とスポーツクラブ・団体の育成
- 取組 3 ▶ スポーツを通じた地域の活性化

## 施策 7 都市交流・平和

多文化交流の推進と平和の継承

- 取組 1 ▶ 国際・国内都市交流の活性化
- 取組 2 ▶ 平和活動の推進と次世代への継承





## 「生きる力」の育成と学習環境の向上



### 1 基本方針

子どもたちの確かな学力、豊かな心、健やかな体を育み、自ら学び考え、未来を拓く「生きる力」を培うとともに、よりよい学習環境の確保のため、学校再編を進めながら、家庭や地域と共にある学校づくりを推進します。

### 2 後期基本計画の取組内容・成果等

- 本市の教育施策の全般的な方針を示す「日立市教育大綱」(2019(令和元)年12月改訂)及び「日立市教育振興基本計画」(2019(平成31)年3月策定)に基づき、教育施策を推進するとともに、児童生徒数の減少を踏まえた新しい学校教育の環境づくりを進めるため、2021(令和3)年2月に「日立市立学校再編計画」を策定し、学校統合に向けた準備に着手しました。
- いじめや不登校等の早期解決、未然防止を図るため、スクールソーシャルワーカー※を配置したほか、hyper-QU(よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート)を実施し、学校における子どもの居場所づくりに取り組みました。
- 特別支援教育※の推進を図るため、生活指導員※の配置に加え、教職員が、子どもたち一人一人の特性に応じた適切な対応を図れるよう特別支援学校と連携した研修や、校内研修会への専門家の派遣を行いました。
- 学校給食を安全に安定して提供するため、宮田及び十王調理場を統合した「北部学校給食共同調理場」を新たに建設し、2019(平成31)年4月から供用を開始するとともに、保護者の負担軽減及び更なる給食の充実を図るため、給食費の一部補助(500円)を行いました。
- 情報教育環境の充実を図るため、国のGIGAスクール構想※の一環として、児童生徒1人1台のタブレット型端末やプロジェクター配置のほか、校内の通信環境を整備しました。
- 新学習指導要領へ対応するため、小中学校へのALT(外国語指導助手)配置時間を拡充し、英語教育の充実を図ったほか、各種教材を導入し、プログラミング教育を推進しました。
- 安全・安心な学習環境を整備するため、校舎等の改築及び大規模改造を始め、トイレ改修や教室へのエアコン設置、防犯カメラの設置等を進めるとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、各種感染症対策のほか、熱中症対策や防寒対策などにも取り組みました。

### 3 現状と課題

#### 1 確かな学力の定着と一人一人に寄り添い支える教育環境づくり

本市では、「日立市教育振興基本計画」等に基づき、確かな学力の育成に取り組んできましたが、今後も、子ども同士や教職員・地域の人々との協働及び対話を通じて、自己の考えを形成する「深い学び」を実現する必要があります。

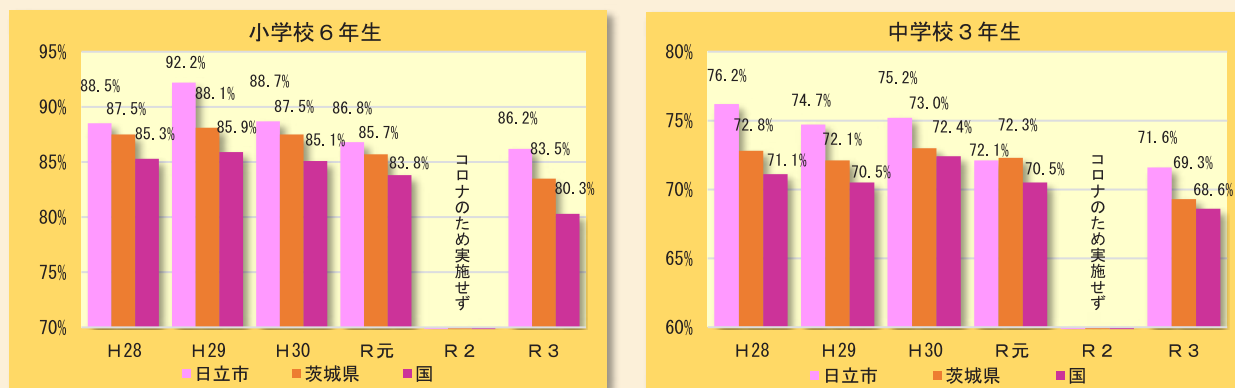
また、特別支援教育を始め、いじめや不登校、外国人児童生徒への日本語指導など、子ども一人一人の教育的ニーズが多様化していることから、適切な指導や必要な支援を充実させる必要があります。

加えて、教職員が子どもと向き合う時間などを確保するため、教職員の働き方改革を更に推進していく必要があります。

#### 2 豊かな心と健やかな身体を育む教育の充実

本市では、自己肯定感・有用感を高める取組を進めてきたことで、「将来の夢や目標を持っている」児童生徒の割合は、全国平均を上回る状況となっています。今後も、子どもたちが将来への夢と希望を持ちながら、積極的にコミュニケーションを図る態度を育むとともに、道徳教育の充実、食育の推進などを通じて、豊かな感性や健康な体を育む取組が求められています。

■ 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合の推移



出典：全国学力・学習状況調査

#### 3 次代を担う力を磨き高める教育の推進

ICT(情報通信技術)の進歩や社会のグローバル化の進展など、変化の激しい時代の中、本市では、情報教育や英語教育の充実などに取り組んできました。引き続き、子どもたちが自ら判断し行動できる力や情報活用能力、コミュニケーション能力など、次代を生き抜く力を育む取組が求められています。

#### 4 学習環境の整備と地域とともにある学校づくり

人口減少や少子化により学校の規模が縮小する中、より良い学習環境の整備と教育の質の向上を図るため、学校再編を円滑に進めていくとともに、再編後の跡地活用などについても検討していく必要があります。

子どもたちが健やかに成長していくためには、学校だけではなく家庭や地域が教育の場としての機能を発揮し、学校・家庭・地域が一体となって教育活動に取り組む必要があります。

また、学校は、学びの場であるとともに、地域の様々な活動や防災拠点でもあり、施設の老朽化対策や安全性の向上が求められています。

さらに、通学路の安全対策の推進や子どもたちの防災に対する意識を高めていくことも必要です。



## 4 5年後に目指す姿

学校における教師の対面指導と家庭や地域社会と連携した遠隔・オンライン教育を組み合わせた「学びのハイブリッド化」により、教育の質が向上し、子どもたちが進んで学習に取り組み、基礎・基本的な知識などの定着、学力の向上が進んでいます。全ての子どもたちが、一人一人の可能性を伸ばす教育を受けており、いじめのない、楽しく夢のある学校生活を送っています。教職員は、子どもたちと向き合う時間を確保できており、ワーク・ライフ・バランスを実現しています。

また、子どもたちは、夢や目標を持ち、自分の良さをいかしながら、みんなと協働して困難を乗り越えています。郷土を愛し、広く社会に貢献する意欲を持ちながら、望ましい生活習慣や運動習慣を身に付け、心身ともに健康な生活を送っています。

たくましく未来を切り拓いていくため、論理的な思考力があり、情報を適切に活用できる子どもたちが育っています。社会のグローバル化に対応し、他国の人々や文化に敬意を払いながら、英語によるコミュニケーションを積極的に図ろうとする態度や能力を身に付けています。

さらに、安全・安心な学校施設や通学路の整備、学校再編が円滑に進み、より良い学習環境が整っています。

地域の人々の理解と協力を得た学校運営が実現し、学校と保護者・地域が一体となって子どもたちを育む体制づくりが進み、地域人材を活用した教育活動が充実しています。

また、学校避難訓練や防災教育の充実などにより、子どもたちの自らの命を守る力の育成が進んでいます。



1人1台タブレットを活用した授業



ブリティッシュヒルズ<sup>※</sup>での留学体験

## 5 数値目標

「学校教育」に関する成果指標  
(市民ニーズ調査から)

項目	後期計画 (H28)	現状値 (R3)	目標値 (R8)
現在の評価	3.1	3.7	3.8
今後の重要度	4.1	4.4	

施策に関する目標指標

項目	現状値 (R3)	目標値 (R8)
学校生活に満足している割合	小学生 62.0% 中学生 57.0%	小学生 70.0% 中学生 75.0%
授業の内容がよく分かる割合	小6 国語 86.1% 算数 84.3%	小6 国語 92.0% 算数 90.0%
	中3 国語 85.0% 数学 76.3%	中3 国語 90.0% 数学 82.0%

## 6 目指す姿を実現するための取組

### 取組1

### 確かな学力の向上・相談支援体制の充実と教職員の働き方改革

- 全ての子どもたちに確かな学力を保障するため、新聞を活用したNIEの取組や郷土学習・星空学習などの特色ある教育内容の充実により、主体的・対話的で深い学びの視点から教育の質の向上を図ります。
- 多様化する教育的ニーズに対応し、子どもたちが安心して楽しく学校に通う環境づくりを推進するため、教育相談員の全校配置や研修会の開催による相談体制の充実・資質の向上を図るほか、hyper-QU(よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート)の拡充や生活指導員の増員など、子ども一人一人に寄り添うことで、支援体制の充実に取り組みます。
- 教職員が子どもと向き合う時間などを確保するため、業務内容の見直しやICT支援員の配置などにより、教職員の働き方改革の更なる推進を図ります。

	事業名	担当課
<b>重点</b>	NIE推進事業 確かな学力育成事業 小中連携教育推進事業	指導課
	情報教育環境整備事業	学校施設課
	少人数指導教員配置事業	学務課
	教育相談事業(教育相談員の全校配置・不登校対策支援)	教育研究所
	進路実現に向けての学習支援 生活指導員配置事業 豊かな学校づくり支援事業(hyper-QU拡充) 外国人児童生徒学校生活支援事業 いじめ防止対策への取組 GIGAスクール構想推進のためのICT支援員配置事業 地域エキスパート活用事業(地域人材を活用した部活動サポート)	指導課
	教育振興基本計画改訂事業 教職員の業務改善推進事業	教育委員会総務課 学務課
	こども発達相談センター事業(再掲) 教育課題調査研究事業 教職員研修事業 特別支援教育振興事業	教育研究所



## 取組2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進

- 「自分の良さ」に気付き、将来に夢や希望を抱きながら、その実現に向かって、未来を切り拓いていく子どもを育成するとともに、他者とともにより良く生きるための基盤となる道徳性や、生きる上での精神的な支えとなる郷土への愛着や誇りを持つことができるよう、豊かな感性を育む教育を推進します。
- 子どもたちの健やかな体づくりを推進するため、授業のほか、専門的な技術を有する地域人材などと連携した部活動など、学校での活動を通じた体力や技能の向上を図るとともに、栄養バランスの取れた望ましい食習慣を身に付けるための食育や、安全で安心な給食を長期的・安定的に提供するため、米飯等調理施設の整備などに取り組みます。

	主な事業	担当課
重点	新 米飯等調理施設整備事業	北部学校給食共同調理場
	未来パスポート事業	指導課
	ひたち大好き博士事業(ひたち大好きパスポート事業)	生涯学習課
	学校給食の充実事業	北部学校給食共同調理場
	桜を活かしたまちづくり事業	さくら課
	ふるさと大好き人づくり教育推進事業	
	道徳教育の充実	指導課
	特別活動推進事業(中学校1年生全員を対象とした宿泊体験)	
	地域エキスパート活用事業(地域人材を活用した部活動サポート)(再掲)	
	桜を守り育てる体制づくり事業	さくら課

## 取組3 変化の激しい社会を生き抜く能力の育成

- 子どもたちの論理的・科学的思考力を育成するため、ものづくりのまちの特性をいかした、科学学習推進事業(理科室のおじさん<sup>※</sup>)などの取組により理数教育の充実を図るとともに、1人1台の端末整備が完了したタブレット型端末を活用した遠隔・オンライン授業と学校での対面授業を組み合わせた学びのハイブリッド化を推進し、子どもたちの学びの質の向上に取り組みます。
- 国際社会で活躍する能力を育成するため、小学校教員向けのハワイ・パシフィック大学での研修などによる英語指導力の強化のほか、外国の文化についての理解を深める取組を進め、子どもたちの英語力の向上を図るとともに、外国からの児童生徒の受入体制の構築などに取り組みます。



科学学習推進事業(理科室のおじさん)

	主な事業	担当課
重点	新 デジタル教科書導入検証事業	指導課
	情報教育環境整備事業(再掲)	学校施設課
	外国語指導助手活用による英語力育成事業	指導課
	科学学習推進事業	
	GIGAスクール構想推進のためのICT支援員配置事業(再掲)	
	エネルギー教育の充実	指導課
	外国人児童生徒学校生活支援事業(再掲)	
	ハワイ・パシフィック大学教員研修派遣事業	
	国際理解教育推進事業(英語体験活動)	

取組4

教育環境の充実と地域とともにある  
魅力ある学校づくり

- 人口減少や少子化を背景として、児童生徒数や学級数が減少する学校の小規模化が進行しており、より良い教育環境を確保するため、学校再編に向けた取組を推進するとともに、再編に合わせた学校施設の改修や建て替えを進め、再編の結果、使われなくなった学校施設や敷地についても、地域の活性化につながる利活用方法を検討します。
- 子どもたちの豊かな育ちを確保するため、学校・地域・家庭の連携により地域全体で子どもたちを育てる取組を推進するほか、保護者が負担する教育費の軽減などに取り組みます。
- 安全・安心な学習環境や地域の拠点となる学校の安全性を確保するため、校舎等の老朽化対策を進めるほか、関係機関と連携し、通学路の安全対策を継続的かつ効率的に推進します。また、自然災害等の危険に際して、子どもたちが自ら命を守り抜くために主体的に行動する態度を育成し、安全に対する意識を高めます。



久慈小学校

	主な事業	担当課
重点	ランドセル及びスクールカバン贈呈	学務課
	学校再編推進事業	学校再編課
	学校運営協議会制度推進事業	指導課
	新 小・中学校校舎・屋内運動場整備事業 学校施設整備事業	学校施設課
	スクールバス運行事業 日立特別支援学校整備の検討(再掲) 就学援助事業 地域と連携した学校防災力強化事業 通学路の安全対策	学務課
	地域学校協働活動*推進事業 地域エキスパート活用事業(地域人材を活用した部活動サポート)(再掲)	生涯学習課 指導課

7 関連計画

- ・日立市教育大綱(R元～R5)
- ・日立市教育振興基本計画(R元～R5)
- ・日立市立学校再編計画(R3～R12)
- ・日立市いじめ防止基本方針
- ・日立市さくらのまちづくり基本計画(R4～)

8 主に関係する課所

教育委員会総務課、学校施設課、学務課、北部学校給食共同調理場、学校再編課、生涯学習課、指導課、教育研究所、さくら課



施策 2

高等教育等

大学等との連携による将来を担う人材の育成



1 基本方針

大学や中高一貫教育校、高等学校を始めとする様々な教育機関と連携しながら多様な教育支援を行うことにより、まちの持続的な発展をけん引する人材の育成を推進します。

2 後期基本計画の取組内容・成果等

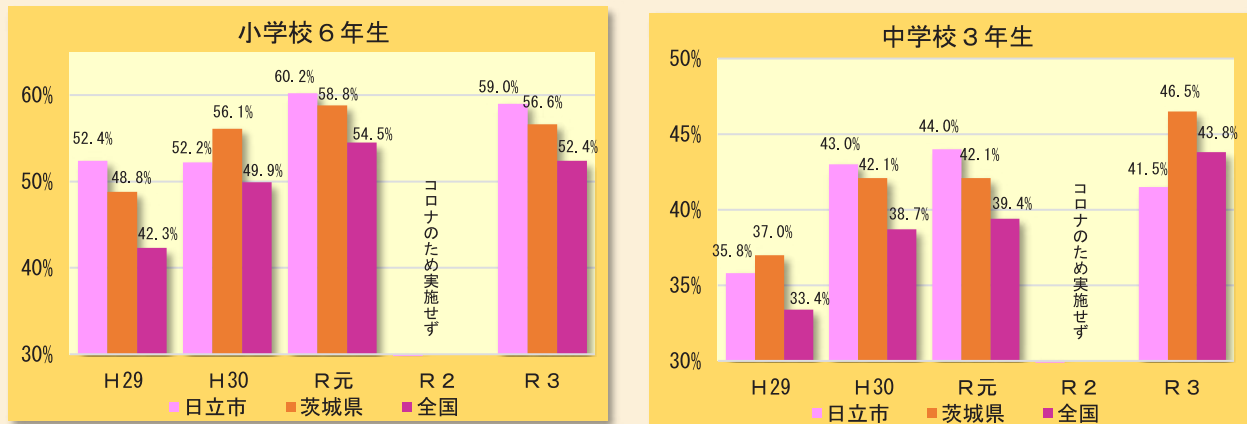
- 若者の教育機会を確保するため、経済的な支援として奨学金貸付や大学等卒業後の奨学金返還支援の制度の拡充などを行いました。また、特色ある教育活動の振興を図るため、私立高等学校に対し支援を行いました。
- 将来の社会的自立に向けて、子どもたち一人一人が勤労観や職業観を育むことができるよう、地域や産業界が一体となり取り組む職業探検少年団の運営を支援しました。
- 地域の医療や福祉職に高い関心を持つ高校生の進学を支援するため、茨城キリスト教大学及び日立メディカルセンター看護専門学校の「地域特定推薦入学制度」を活用し、入学を希望する高校生の推薦を行いました。
- 子どもたちが、働くことの意味や職業生活についての理解を高め、自己の将来を見つめることができるよう、中学2年生を対象に職場体験活動を実施しました。
- 大学等と地域中小企業との連携による新製品・新技術の開発を促進するため、(公財)日立地区産業支援センターにおいて、茨城大学工学部等との産学連携による研究開発の支援を行いました。
- ものづくり技能の高度化や次世代人材の育成を促進するため、地域中小企業への従業員の研修訓練経費の補助を行いました。

### 3 現状と課題

#### 1 まちの発展をけん引する人材の育成

本市ではこれまで、若者が経済的に困難な状況にあっても、希望する高等教育等を受けられるよう支援してきましたが、今後も、国が進める高等教育無償化に向けた取組を注視しながら、社会・経済の状況変化に応じた教育機会の確保に努めるとともに、市内に立地する教育機関等と連携・協働し、専門的で高度な知識や技術を持った、まちの発展をけん引する人材の育成を支援することが求められています。

■地域や社会をよくするために何をすべきか考える児童生徒の割合の推移



出典：全国学力・学習状況調査

#### 2 キャリア教育の推進

少子高齢化や人口減少、技術革新など社会を取り巻く環境の急激な変化は、全ての子どもたちの生き方に影響を及ぼすと指摘されており、この変化に適応しながら、様々な課題を克服できる人材を育成するため、社会的・職業的な自立に必要な能力や態度を育てる「キャリア教育」を児童生徒の発達段階に応じ、体系的に推進することが求められています。

#### 4 5年後に目指す姿

本市で生まれ育った若者が、希望する高等教育機関等へ進学できる環境や目標の実現に向けて知識や技術を身に付けることができる環境が整っており、社会で広く活躍する人材の育成が図られています。

体系的なキャリア教育が実施され、子どもたちは、社会的・職業的な自立に必要な能力や態度を身に付けています。



職業探検少年団の活動



## 5 数値目標

「高等教育等」に関する成果指標  
(市民ニーズ調査から)

項目	後期計画 (H28)	現状値 (R3)	目標値 (R8)
現在の評価	3.1	3.4	3.6
今後の重要度	3.9	4.2	

施策に関する目標指標

項目	現状値 (R3)	目標値 (R8)
奨学生ふるさと定住促進補助の利用者	25人	500人
地域や社会をよくするために何をすべきか考える児童生徒の割合	小6 59.0% 中3 41.5%	小6 60.0% 中3 50.0%

## 6 目指す姿を実現するための取組

### 取組1

### 教育機会の確保と教育機関等との連携の推進

- 多様な教育の機会を確保するため、若者が希望する学校へ進学し社会で活躍するための奨学金貸付による支援を行うとともに、若者の経済的負担の軽減や本市への定住促進を図るため、奨学生が本市に定住した場合、奨学金返還額の一部を助成します。
- 次代を担う人材を育成するため、卒業後、地域医療へ貢献できる人材の養成を目的とする地域特定推薦入学制度への継続的な推薦の協力や、市内の私立高等学校の教育振興のための支援など教育機関等との連携を一層推進します。



	主な事業	担当課
重点	奨学金返還支援事業(奨学生ふるさと定住促進補助、奨学生医療・介護・福祉職就業支援補助)	教育委員会総務課、 地域医療対策課
	奨学金貸付事業 私立高等学校に対する助成事業	教育委員会総務課
	地域特定推薦(茨城キリスト教大学看護学部、日立メディカルセンター看護専門学校)(再掲)	指導課、 地域医療対策課

取組2

自分らしい生き方を実現するための教育の充実

- 社会的・職業的自立に向けた、キャリア教育として、地域、産業界、行政が一体となって進めている職業探検少年団の運営支援や職場体験活動を実施するほか、自己肯定感や自己有用感を高める取組を推進することで、自分らしい生き方を実現するための力を育みます。



主な事業		担当課
重点	職業探検少年団支援事業	生涯学習課
	未来パスポート事業(再掲)	指導課
	中学生社会体験事業	指導課

7 関連計画

- ・日立市教育大綱(R元～R5)
- ・日立市教育振興基本計画(R元～R5)

8 主に関係する課所

教育委員会総務課、生涯学習課、指導課、地域医療対策課

## 学びの機会の充実と地域・家庭の教育力向上



### 1 基本方針

市民一人一人が自己を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、誰もが、いつでも、どこでも学び続けられる生涯学習の機会の充実に取り組むとともに、地域や家庭における教育力の向上に向けた取組を推進します。

### 2 後期基本計画の取組内容・成果等

- 市民が主体となって生涯学習に取り組む環境の充実を図るため、「ひたち生き生き百年塾推進本部」の活動を支援し、市民の学びの機会や学びの成果を活用する機会を提供しました。
- 多様化する市民の学びのニーズに応えるため、図書館4館において図書館資料やレファレンスサービス※を充実させるとともに、電子書籍の貸出、新たな移動図書館車の運行など、学びの拠点である図書館のサービス向上を図りました。
- 家庭の教育力向上を図るため、家庭教育講座・講演会による啓発や子どもセンターでの相談、絵本を通じた親子交流事業の実施等により、子育て家庭への働き掛けを行いました。
- 読書を通して子どもたちの豊かな心を育むため、2019(令和元)年度に「子ども読書活動推進計画」を策定し、学校教育に読書活動を位置付けたほか、図書館や交流センターの図書コーナー等の児童図書の充実、赤ちゃんに絵本等をプレゼントするブックスタートパックの配布に取り組み、乳幼児期から読書に親しむ環境の充実を図りました。



### 3 現状と課題

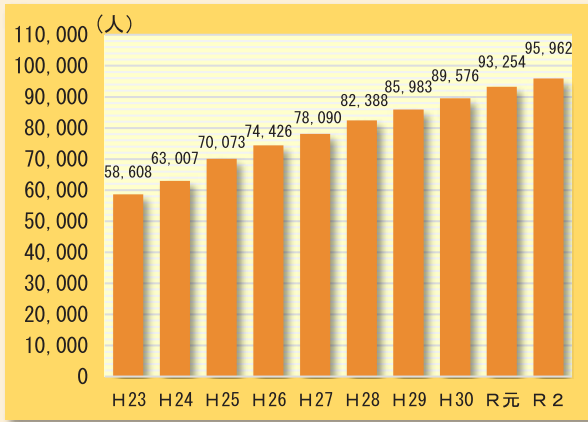
#### 1 ライフステージに応じた学習機会の提供や 地元への愛着心の向上と環境整備

本市では、市民の自主的な生涯学習活動が、各交流センターのほか、市内4つの図書館や郷土博物館など様々な場において活発に進められていますが、情報化社会の進展やライフスタイルの変化などに伴い、多様化する学びのニーズを的確に把握し、ライフステージに応じた学習機会の充実や地元への愛着心の向上を図るほか、学習の拠点となる施設の環境整備を推進する必要があります。



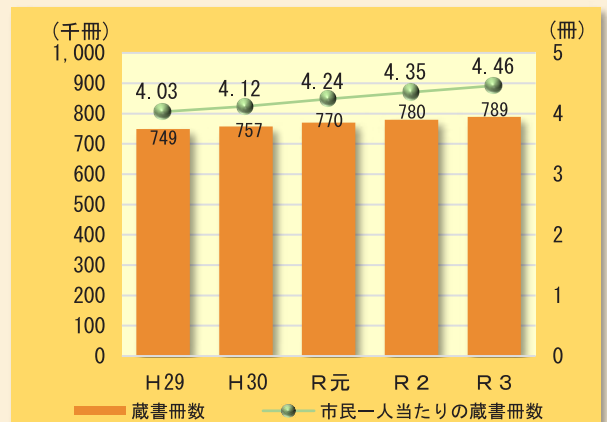
郷土博物館での歴史学習

■日立市立図書館の利用登録者数の推移



出典：記念図書館集計値

■日立市立図書館の蔵書冊数の推移



出典：記念図書館集計値



図書館のおはなし会

#### 2 家庭や地域における教育力の向上

人口減少や少子高齢化による核家族化、地域のつながりの希薄化などにより、親子の学びや育ちを支える世代間の教育機会の減少や家庭や地域の教育力の低下が懸念されています。

そのため、家庭教育の大切さを啓発するとともに、家庭教育を学ぶ機会を提供するなど、様々な関係機関との連携・協働により、子どもたちの成長にとって重要である家庭の教育力の向上を図り、地域ぐるみで次代を担う子どもたちの成長を支える環境づくりを進める必要があります。



放課後子ども教室での取組（田尻小）

## 4 5年後に目指す姿

市民と地域・行政・関係団体の連携により、市内の様々な場所に、多種多様な学習機会があり、市民の誰もが、いつでも、どこでも学ぶことができる環境が整備され、生涯学習活動が活発に進められています。また、市民は自身が学んだことをお互いに教え合い、その学習の成果をいかし、郷土への誇りと愛着を持ちながら、魅力あふれるまちづくりに取り組んでいます。

保護者の家庭教育を学ぶ機会が充実するとともに、学校や地域、行政が連携・協働し、子どもたちの心身ともに健全な成長を支えており、子どもたちは、家庭やコミュニティなどに支えられながら、放課後や休日の有意義な活動を楽しんでいます。



市民対象の生涯学習講座

## 5 数値目標

「生涯学習」に関する成果指標  
(市民ニーズ調査から)

施策に関する目標指標

項目	後期計画 (H28)	現状値 (R3)	目標値 (R8)
現在の評価	3.1	3.4	3.6
今後の重要度	3.8	4.0	

項目	現状値 (R3)	目標値 (R8)
生涯学習に取り組む人の割合	37.1%	50.0%
図書館の利用者数 (電子書籍含む)	222千人(R元) 157千人(R2)	270千人

※R2の実績値は新型コロナウイルス感染症の影響があるため、R元の実績値を現状値としている。

## 6 目指す姿を実現するための取組

### 取組1

### 循環型の生涯学習社会の構築と社会教育環境の整備・充実

- 人づくりがまちづくりにつながる学習サイクルの構築を目指すため、多様化する市民のニーズに合った学習機会や学んだ成果を活用する機会、市民の学びを深め、郷土を知り、地元への愛着心を高める機会の充実を図ることで、地域の中で活動する人材や生涯学習を担う人材を育成する取組を推進します。
- 社会教育環境の整備・充実を図るため、新しい生活様式に対応した非来館型サービスである電子書籍の貸出しや移動図書館の運行など、図書館サービスの更なる充実に努めるとともに、郷土博物館の展示設備のデジタル化やWi-Fi整備など博物館の魅力向上を推進する取組を進めます。



	主な事業	担当課
<b>重点</b>	電子書籍貸出サービス事業	各図書館
	移動図書館運行管理事業	各図書館
	博物館魅力づくり事業	郷土博物館
	桜を活かしたまちづくり事業(再掲)	さくら課
	ひたち生き生き百年塾推進本部事業	生涯学習課
	映像文化振興事業	記念図書館 (視聴覚センター)
	郷土映像制作活用事業	記念図書館 (視聴覚センター)
	桜を守り育てる体制づくり事業(再掲)	さくら課

## 取組2 家庭や地域の教育力の充実

- 教育の原点となる家庭教育の大切さを啓発し、子育て世代が安心感と自信を持って家庭での教育を行えるよう支援するとともに、子どもたちが読書を通して、未来を生き抜く力を付けられるよう家庭の教育力の向上を図ります。
- 子どもたちが放課後や休日を有意義に過ごせるよう、コミュニティや企業と連携しながら、子どもの体験機会の提供と内容の充実を図るとともに、地域での教育活動を支援し、地域の教育力の向上を図ります。



	主な事業	担当課
重点	新・放課後子ども総合プラン推進事業 (放課後児童クラブ・放課後子ども教室の一体的運営の推進)(再掲) 職業探検少年団支援事業(再掲) ひたち大好き博士事業 (ひたち大好きパスポート事業)(再掲) ラジオ体操普及事業(再掲)	生涯学習課
	家庭教育推進事業 地域学校協働活動推進事業(再掲) 子ども会活動支援 豊かな体験支援事業 子ども読書活動推進事業	生涯学習課 各図書館

## 7 関連計画

- ・日立市教育大綱(R元～R5)
- ・日立市教育振興基本計画(R元～R5)
- ・日立市子ども読書活動推進計画(R2～R6)
- ・日立市さくらのまちづくり基本計画(R4～)

## 8 主に関係する課所

生涯学習課、各図書館、記念図書館(視聴覚センター)、郷土博物館、さくら課



## 多様な文化・芸術の推進



## 1 基本方針

地域の特徴ある伝統文化・芸術資源の活用や関連施設の魅力向上、市民の様々な活動への支援などに取り組み、市民が身近に多様な文化・芸術に親しめる環境づくりを進めます。

## 2 後期基本計画の取組内容・成果等

- 誰もが気軽に参加し、文化・芸術に触れる機会を提供するため、「日立市美術展覧会」や「ひたちこども芸術祭」などを開催したほか、市民を主体とした文化・芸術活動の推進や次代の担い手育成のため、日立市文化協会や日立市文化少年団への支援を行いました。
- 誰もが文化・芸術に親しみ交流できる場として文化・芸術施設の魅力向上を図るため、次のような取組を推進しました。
  - ・本市出身の作曲家・吉田正氏の功績等を伝える「吉田正音楽記念館」での各種イベントや企画展を開催しました。
  - ・日立シビックセンターを会場とした「ひたち国際大道芸」、「ひたち秋祭り～郷土芸能大祭」などの全国的規模のイベントを開催しました。
  - ・吉田正音楽記念館と角記念市民ギャラリーの連携による企画展を開催しました。
  - ・日立市文化少年団や若手アーティスト等との連携による角記念市民ギャラリー企画展を開催しました。
  - 日立シビックセンターの魅力向上を図るため、日立シビックセンター科学館の大規模リニューアルを実施しました。
  - 文化財の適切な保存と地域活性化のために文化財を活用する、「日立市文化財保存活用地域計画」のほか、同計画で重点的に取り組む事業の計画として、「日立風流物保存活用計画」、「長者山官衙遺跡及び常陸国海道跡保存活用計画」を2021(令和3)年に策定しました。



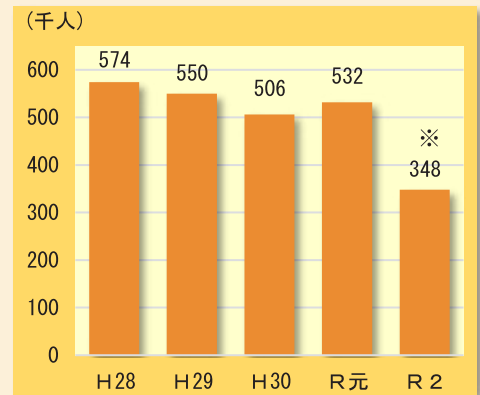
### 3 現状と課題

#### 1 文化・芸術の継承と施設の更なる魅力づくり

人口減少や少子高齢化などの社会状況の変化を背景に、文化・芸術活動に取り組む市民団体の後継者・担い手不足が大きな課題となっており、次世代への継承を支援する取組のほか、市民の郷土への理解や愛着心の醸成が求められています。

さらに、文化・芸術施設については、安全性を持続的に確保するため、引き続き各施設の計画修繕を進めるとともに、文化・芸術活動や鑑賞の場としての機能の充実を図るなど、誰もが利用しやすい施設づくりを進める必要があります。

■文化施設利用人数の推移



出典：文化・国際課集計値  
※R2はコロナの影響により減少

#### 2 文化・芸術を通じた交流・にぎわいづくり

本市には、ユネスコの無形文化遺産に再登録された「日立風流物」、国指定史跡となった「長者山官衙遺跡及び常陸国海道跡」など国内外に誇れる文化財や、「ひたち国際大道芸」、「ひたち秋祭り～郷土芸能大祭」といった特徴あるイベントなど、全国各地から多くの方々を訪れる文化・芸術資源を有しています。

また、2021(令和3)年にリニューアルした科学館「サクリエ」やプラネタリウムを有する日立シビックセンター、本市出身の作曲家・吉田正氏の功績等を伝える吉田正音楽記念館などの文化・芸術施設があり、それぞれの魅力をいかした各種イベントや企画展などが開催されています。

これらの特徴ある文化・芸術資源を最大限に活用するため、情報発信力の強化を進めながら、交流人口の拡大を図る取組が求められています。



ひたち秋祭り～郷土芸能大祭



日立シビックセンター科学館「サクリエ」



多賀地区でのアート系イベント「SUN SKY HITACHITAGA」



ヒタチスターライトイルミネーション

## 4 5年後に目指す姿

文化・芸術が市民の生活や地域に溶け込み、誰もが気軽に多様な文化・芸術に触れ合う機会が提供されています。また、地域の文化・芸術活動を支える人材や新たな担い手の育成支援が進み、市民が郷土に誇りと愛着を感じながら、自主的な取組により、多様な文化・芸術活動が行われています。

文化・芸術施設については、計画的な修繕や更新等により長寿命化や安全性が確保されるとともに、機能の更なる充実が図られ、魅力が向上しています。

さらに、「日立風流物」を始め、「ひたち国際大道芸」、「ひたち秋祭り～郷土芸能大祭」、日立シビックセンターや吉田正音楽記念館など、全国に誇れる文化・芸術資源の活用が進み、本市の個性と魅力が全国に発信され、市内外から人々が集う、にぎわいのあるまちづくりが進んでいます。

## 5 数値目標

「文化・芸術」に関する成果指標  
(市民ニーズ調査から)

項目	後期計画 (H28)	現状値 (R3)	目標値 (R8)
現在の評価	3.4	3.4	3.6
今後の重要度	3.8	3.8	

施策に関する目標指標

項目	現状値 (R3)	目標値 (R8)
郷土博物館の入館者数	※ 14,766人(R元) 6,833人(R2)	20,000人
文化施設の利用人数	※ 532千人(R元) 348千人(R2)	560千人

※R2の実績値は新型コロナウイルス感染症の影響があるため、R元の実績値を現状値としている。

## 6 目指す姿を実現するための取組

### 取組1

### 文化・芸術の次世代への継承と関連施設の魅力向上

- いつでも気軽に、文化・芸術に親しむことができる機会や場づくりを推進し、活動の振興を図るため、文化・芸術活動団体に対して引き続き支援を行うほか、これらの活動が次世代に確実に引き継がれるように、地域の文化・芸術活動を支える人材や新たな担い手の育成支援等を進めます。
- 市民が学びを深め、郷土を知り、地元への誇りや愛着心を高めるため、文化財の保存・活用に併せ、調査研究を進めるとともに、講座・講演会などを開催し、市民の学習機会の充実に努めます。
- 各文化施設の長寿命化や安全性を持続的に確保するため、引き続き計画的な維持補修を進めるとともに、施設の展示・鑑賞設備などの機能の充実を図ることで、魅力向上に取り組みます。



子どもたちによる伝統芸能発表



主な事業		担当課
重点	日立風流物展示施設等整備事業 文化財保存活用推進事業 博物館魅力づくり事業(再掲) シビックセンター賑わい創出事業	郷土博物館 文化・国際課
	シビックセンター計画修繕事業 吉田正音楽記念館維持補修事業 角記念市民ギャラリー運営事業 市民科学文化財団自主事業 ひたちこども芸術祭支援事業 市民会館(日立・多賀)維持補修事業	文化・国際課

## 取組2 文化・芸術事業による交流人口の拡大とにぎわい創出

➤ 市内外から人々が集う、にぎわいのあるまちづくりを進めるため、「日立風流物」を始め、「ひたち国際大道芸」、「ひたち秋祭り～郷土芸能大祭」など、本市がこれまでに培ってきた特徴ある文化資源・事業等の一層の充実を図るとともに、日立シビックセンターや吉田正音楽記念館など、全国に誇れる文化施設を核とした質の高い文化・芸術事業を展開することにより、本市の個性と魅力の発信を推進します。



ひたち国際大道芸

主な事業		担当課
重点	日立風流物展示施設等整備事業(再掲)	郷土博物館
	ひたち秋祭り開催事業 ひたち国際大道芸開催事業 ヒタチスターライトイルミネーション開催事業 吉田正記念事業	文化・国際課

## 7 関連計画

- ・日立市教育大綱(R元～R5)
- ・日立市教育振興基本計画(R元～R5)
- ・日立市文化財保存活用地域計画(R3～R12)
- ・国史跡「長者山官衙遺跡及び常陸国海道跡」保存活用計画(R3～R12)
- ・日立風流物保存活用計画(R3～R12)
- ・日立市文化振興指針(H29～R8)

## 8 主に関係する課所

郷土博物館、文化・国際課

## 青少年の健全育成の推進

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS3 すべての人に  
健康と福祉を4 質の高い教育を  
みんなに8 働きがいも  
経済成長も16 平和と公正を  
すべての人に17 パートナーシップで  
目標を達成しよう

## 1 基本方針

次代を担う青少年の豊かな人間性とふるさとひたちの郷土愛を育む機会の充実に努めるとともに、青少年を取り巻く社会環境の変化に対応した健全育成活動に取り組みます。

## 2 後期基本計画の取組内容・成果等

- 青少年の健全育成・非行防止のため、市が委嘱した青少年相談員が中心となって、月例活動や特別活動を通して、青少年に声かけを行うとともに、地域・学校・関係団体と連携し「青少年の健全育成に協力する店」への登録活動などを実施しました。
- 地域の大人が青少年を見守り育てる「地域親活動」の一環として、日立市青少年育成推進会議や地域・学校・関係団体と連携・協力して、「あいさつ・声かけ運動」や「薬物乱用防止運動」などの啓発活動を展開しました。
- 地域の子どもは地域が育てることを主眼に、子どもたちの自主性、協調性や思いやりの心などを育むため、コミュニティ等が取り組む「地域わんぱく隊事業」に対し補助を行ったほか、地域リーダー育成のための「野外体験隊事業」を実施しました。
- 20歳未満の青少年やその保護者を対象に様々な悩みの相談に対応するため「ひたち子ども電話相談」や「悩みごと相談」を実施しました。
- 成人の門出を祝うとともに、社会人としての自覚を促す機会として、新成人自身の企画運営による新成人記念事業を行いました。

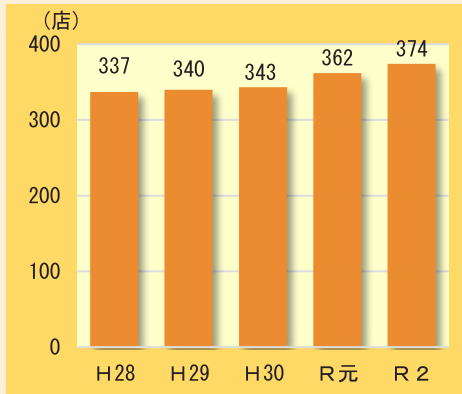
### 3 現状と課題

#### 1 青少年を取り巻く環境への対応

情報通信網やスマートフォンなどの携帯情報端末が急速に普及しており、それに伴い、TwitterやLINEなどに代表されるSNSが広く利用されていますが、その利用を起因として、青少年の非行を助長するおそれがあるほか、犯罪やトラブルに巻き込まれることも危惧されます。

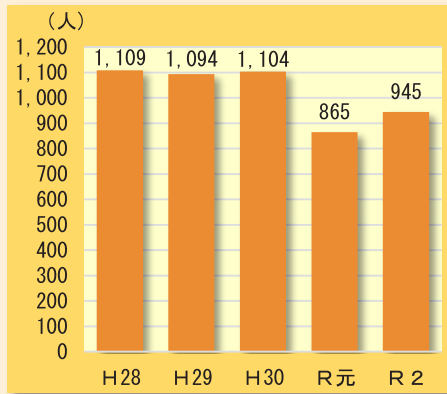
このような青少年を取り巻く社会環境の変化に対応しながら、青少年の健全育成を図ることが求められています。

■「青少年の健全育成に協力する店」登録数の推移



出典：女性若者支援課集計値

■街頭活動事業参加人数の推移



出典：女性若者支援課集計値

#### 2 青少年の支援充実

近年、家庭環境の変化や地域コミュニケーションの希薄化等により、家庭や地域における教育力の低下が問題となっています。そのため、子どもの自主性、協調性や思いやりの心などの生きる力、さらには、郷土愛を育むとともに、様々な生活体験や異年齢交流などができる機会を設ける必要があります。

また、青少年が抱える悩みは、異性・交友・いじめ・不登校や学校生活など多様化しており、それらを適切な方向に導くためには、悩みごとを気軽に相談できる環境づくりが必要です。



ひたち郷土かるた大会



地域わんぱく隊（諏訪地区）



## 4 5年後に目指す姿

家庭・地域・学校・関係団体が連携し、青少年の成長を見守る活動の取組や成長を支援する環境づくりが進み、非行・犯罪等の抑止が図られ、次代を担う青少年が健やかにたくましく成長し、郷土愛を持ちながら、自ら進んで様々な活動に多くの仲間とともに参加しています。

また、悩みを抱える青少年が適切な方向に導かれ、安心して生活が送れるよう、相談しやすい環境の充実が図られています。



## 5 数値目標

「青少年育成」に関する成果指標  
(市民ニーズ調査から)

項目	後期計画 (H28)	現状値 (R3)	目標値 (R8)
現在の評価	3.2	3.3	3.5
今後の重要度	4.1	3.9	

施策に関する目標指標

項目	現状値 (R3)	目標値 (R8)
地域わんぱく隊 体験事業参加者数	611人(R元) <sup>※</sup> 298人(R2)	600人

※R2の実績値は新型コロナウイルス感染症の影響があるため、R元の実績値を現状値としている。

## 6 目指す姿を実現するための取組

### 取組1 青少年の健全育成のための活動の推進

- スマートフォンの普及などに伴う、インターネット上におけるトラブルなど、青少年が直面する多様化・複雑化する問題への対応に加え、青少年の健全育成が図られる環境向上のため、家庭・学校・地域・関係団体が連携し、青少年の相談活動や育成活動を充実させるとともに、市民の青少年健全育成に対する関心を高め、理解を深める啓発活動を行います。



深夜外出制限啓発活動（日立港まつり）

主な事業	担当課
青少年健全育成活動事業 街頭活動事業	女性若者支援課

## 取組2 青少年の成長を支援する環境づくりの推進

- 青少年が抱えるいじめや不登校などの様々な悩みや相談に寄り添い、地域の中で安心して過ごすことができる環境づくりを進めます。
- 青少年が自らの学びにより自主性・協調性・創造性などを身に付け、思いやりのある社会性や豊かな人間性と郷土愛を合わせ持ち、次世代のまちづくりを担えるよう、地域ぐるみで様々な体験や多世代交流の機会を提供する取組を推進します。



新成人記念式典



地域わんぱく隊（大久保学区）

主な事業	担当課
電話相談・悩みごと相談事業 地域わんぱく隊事業 自然の村施設整備事業 会瀬青少年の家施設整備事業	女性若者支援課
新成人記念事業	生涯学習課
豊かな学校づくり支援事業(hyper-QU拡充)(再掲)	指導課

## 7 関連計画

- ・日立市いじめ防止基本方針

## 8 主に関係する課所

女性若者支援課、生涯学習課、指導課



# 誰もが親しめるスポーツの推進



## 1 基本方針

子どもから高齢者まで、幅広い年代の方が、健康で生きがいを持って暮らすことができるよう、市民が身近にスポーツに親しめる生涯スポーツの環境づくりを進めるとともに、スポーツイベントの開催による交流人口の拡大など、スポーツを活用したまちづくりを進めます。

## 2 後期基本計画の取組内容・成果等

- 市民の健康増進や交流の場となるスポーツ施設の環境充実を図るため、2018(平成30)年度に策定した「日立市スポーツ推進計画」を踏まえ、2020(令和2)年度に「日立市スポーツ施設整備計画」を策定したほか、市民運動公園やスポーツ広場などの改修・改築を進め、安全性の確保と利便性の向上を図りました。
- 市民がスポーツに親しむ機会を提供するため、「日立市長杯選抜野球大会」や「日立さくらロードレース」、「ぶらスポフェスタ」、「パンポン大会」など、様々なスポーツ大会やイベントを開催するとともに、身近な地域で誰もがスポーツに取り組むことができる環境づくりを図るため、市内の総合型地域スポーツクラブ4団体への支援を行いました。
- 市民のスポーツに対する関心を高めるとともに、交流人口の拡大やまちなぎわいづくりのため、2017(平成29)年に完成した池の川さくらアリーナを活用し、「いきいき茨城ゆめ国体」など大規模な大会等を開催しました。
- スポーツを通じた地域の活性化を図るため、市内外の団体によるスポーツ合宿の誘致に向けた公共スポーツ施設の優先予約の実施など、スポーツ・ツーリズムの取組を推進しました。



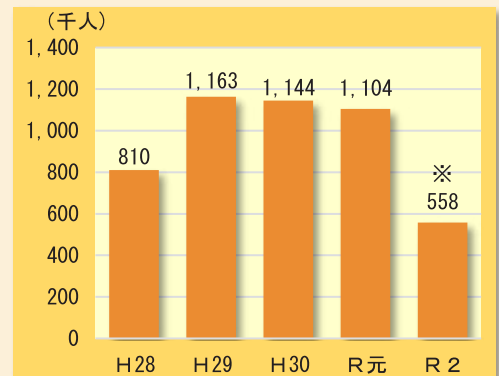
### 3 現状と課題

#### 1 市民誰もが生涯にわたって楽しめるスポーツ環境づくり

少子高齢化や人口減少が進行する中で、スポーツを通じた交流や高齢者の生きがいづくり、健康の保持増進とそれに伴う医療費等の抑制など、スポーツに期待される役割や機能が拡大しており、市民のスポーツに対する関心をより一層高めるとともに、ライフステージに応じたスポーツ活動への参画を更に促進する必要があります。

また、市民のライフスタイルに応じた、身近で気軽にスポーツに親しめる環境の整備や、スポーツ施設の老朽化への対応なども課題となっており、快適で安全なスポーツ環境を確保できるよう、計画的な施設の改修・整備を推進する必要があります。

■スポーツ施設利用者数の推移



出典：スポーツ振興課集計値

※R2はコロナの影響により減少



スポーツ少年団駅伝交流大会

#### 2 競技力の向上とスポーツ団体等の活性化

地元企業チームや高等学校などの全国大会出場を始め、スポーツにおける市民の活躍は、まち全体を活性化するとともに、市民に夢と希望を与え、活力あるまちづくりの推進につながるため、競技者や競技団体を支援していく必要があります。

また、地域におけるスポーツの推進や子どもたちを育むスポーツ環境の充実を図るため、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団などの活動への支援も求められています。

#### 3 スポーツによるまちの活性化・にぎわいづくり

いきいき茨城ゆめ国体や東京オリンピックの開催等を背景に、スポーツを観光資源としたスポーツ・ツーリズムへの取組など、まちづくりにおけるスポーツの果たす役割は、ますます大きなものとなっています。

交流人口の拡大を図り、まちの活性化につなげていくためには、企業スポーツや関係団体と連携を強化し、より多くのスポーツイベントの開催や、スポーツ合宿の誘致などの取組を推進していく必要があります。

#### 4 5年後に目指す姿

全ての市民が、年齢や性別、障害の有無等にかかわらず、身近な場所で、仲間との交流や生きがいづくりなど、それぞれの目的に応じて、スポーツに親しむことのできる環境が整っており、快適にスポーツを「する」、「みる」、「ささえる」ことができます。

また、競技者や競技団体に対する支援が充実し、市民全体の競技力が向上しています。

プロスポーツの観戦や大型スポーツ大会の開催、スポーツ合宿の誘致などを通じて、多くの選手・関係者や観覧者などが、本市を訪れ、交流人口の拡大やまちの活性化が進んでいます。



2021.8.17 ©IRSE/Akihito TOYOSAKI

## 5 数値目標

「スポーツ」に関する成果指標  
(市民ニーズ調査から)

項目	後期計画 (H28)	現状値 (R3)	目標値 (R8)
現在の評価	3.2	3.5	3.6
今後の重要度	3.8	3.9	

施策に関する目標指標

項目	現状値 (R3)	目標値 (R8)
スポーツ施設利用者数	※ 1,104千人(R元) 558千人(R2)	1,200千人
スポーツ合宿による スポーツ施設利用件数	※ 12件(R元) 8件(R2)	50件

※R2の実績値は新型コロナウイルス感染症の影響があるため、R元の実績値を現状値としている。

## 6 目指す姿を実現するための取組

### 取組1

### スポーツへの参加機会の充実と関連施設の整備・改修

- 市民がスポーツに親しむきっかけづくりとするため、地域や関係団体と連携・協働し、ライフステージやライフスタイルに応じて参加できる、多様なスポーツ教室、イベント・レクリエーションを開催するとともに、ラジオ体操やスポーツの習慣化を促進する取組を進めます。
- 市民ニーズを捉えた公共スポーツ施設の利便性向上や有効な活用を図るため、スポーツ施設の計画的な改修・整備を進めます。また、より身近にスポーツに親しむことができる環境の整備・充実を図るため、学校体育施設等を活用する取組を推進します。



日立市長杯ラジオ体操コンクール



池の川さくらアリーナ大型映像装置 (イメージ)

	主な事業	担当課
重点	新 グラウンド芝生化促進事業 運動公園施設整備事業 スポーツ拠点整備事業 ラジオ体操普及事業(再掲)	スポーツ振興課 生涯学習課
	スポーツ習慣化促進事業 スポーツ・レクリエーション推進事業 スポーツ広場等施設整備事業 学校体育施設開放事業	スポーツ振興課

## 取組2 競技スポーツの強化とスポーツクラブ・団体の育成

- 競技スポーツの強化を図るため、スポーツ全国大会に出場する競技者・競技団体への支援や、企業スポーツとの連携などに取り組みます。
- 地域におけるスポーツの推進や子どもたちを育むスポーツ環境の充実を図るため、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団等のスポーツ団体のほか、(公財)日立市スポーツ協会(旧日立市体育協会)加盟の競技団体への育成支援などの取組を推進します。



主な事業		担当課
重点	新 プロスポーツ・トップレベル競技誘致・交流促進事業 スポーツ少年団支援事業	スポーツ振興課
	スポーツ全国大会等出場者への支援事業 総合型地域スポーツクラブ育成事業 スポーツ協会加盟団体の育成事業	スポーツ振興課

## 取組3 スポーツを通じた地域の活性化

- スポーツを通じた地域の活性化を図るため、全国規模の大会や大型イベント等の開催のほか、日立さくらロードレースの魅力向上、スポーツ合宿の誘致などに取り組み、スポーツ・ツーリズムの促進を図ります。
- トップレベルのスポーツと触れ合う機会の提供や交流人口の拡大を図るため、プロスポーツ(バスケットボールBリーグ、野球BCリーグ)や、トップアマチュア(社会人野球、社会人ラグビー、バレーボールVリーグ、日本卓球リーグ)等の試合の誘致を進めるほか、スポーツチームと連携・協働した、選手・指導者等によるスポーツ教室などの交流イベントの実施に取り組みます。



主な事業		担当課
重点	新 プロスポーツ・トップレベル競技誘致・交流促進事業(再掲) 日立さくらロードレースの魅力向上	スポーツ振興課
	日立市長杯選抜野球大会、日立さくら杯社会人野球大会の開催 スポーツ・ツーリズム促進事業	スポーツ振興課

## 7 関連計画

- ・日立市教育大綱(R元～R5)
- ・日立市教育振興基本計画(R元～R5)
- ・日立市スポーツ施設整備計画(R3～R7)

## 8 主に関係する課所

スポーツ振興課、生涯学習課



## 多文化交流の推進と平和の継承



## 1 基本方針

国際親善姉妹都市や国内親善・友好都市を始めとした多様な都市と、教育・文化などの各分野で交流の促進を図るとともに、国際情勢が変化・複雑化する状況においても、平和宣言都市として、平和の大切さについて学び、体験できる機会の充実を図り、その継承に取り組みます。

## 2 後期基本計画の取組内容・成果等

- 市民の多文化への理解を深めるため、国際親善姉妹都市であるバーミングハム市(アメリカ合衆国)やタウンガ市(ニュージーランド)との青少年等の相互訪問を始め、「姉妹都市紹介パネル展」、「フレンドシップ・キルト展」等の文化交流事業を実施したほか、日立国際交流協議会の会員団体などが実施する市民主体の国際交流事業を支援しました。
- 国内親善都市・群馬県桐生市及び友好都市・山形県山辺町との交流を促進するため、市民を対象としたバスツアーを実施したほか、特産品の相互販売等を行いました。
- 日立市平和展を継続して開催するとともに、各種団体が実施する平和活動への協力及び支援を行いました。また、戦争の記憶を風化させないため、戦災経験者による体験談や学校等との連携による平和学習の推進、広島市への中学生の派遣を実施しました。

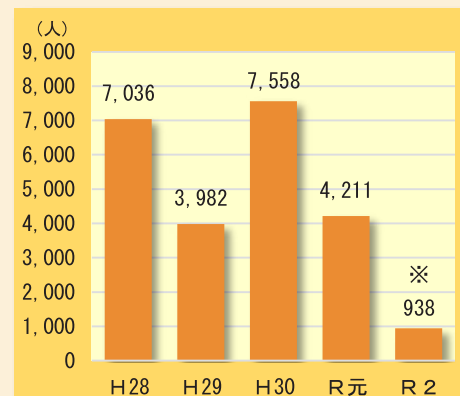
### 3 現状と課題

#### 1 都市交流事業の促進

国際親善姉妹都市であるバーミングハム市・タウランガ市や国内親善・友好都市である桐生市・山辺町とは、市民や企業との協働により、青少年等の相互訪問を始め、教育・文化・経済などの各分野で様々な交流事業を行っています。

今後も、グローバル化の進展や交流人口の拡大など社会環境の変化に対応しながら、更なる交流促進を図ることが求められます。

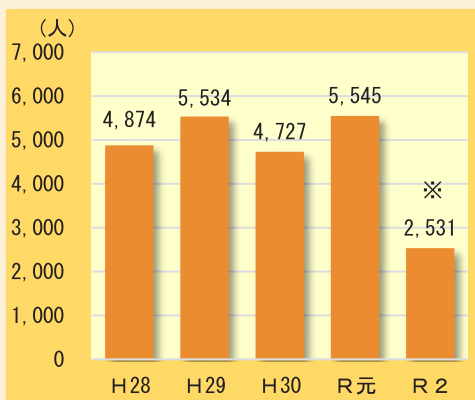
■国際交流事業の参加者数の推移



出典：文化・国際課集計値

※R2はコロナの影響により減少

■平和啓発事業の参加者数の推移



出典：文化・国際課集計値

※R2はコロナの影響により減少

#### 2 平和意識の継承と醸成

終戦から75年以上が経過し、戦災経験者が高齢化し、戦争を知らない世代が多数を占める中で、戦争の悲惨な記憶を風化させることなく、平和の尊さや命の大切さを次世代に伝えていくことは、今を生きる我々の責務です。

そのため、「核兵器廃絶・平和都市宣言」の理念に基づく恒久平和の実現に向けて広く市民に戦争と平和に関する意識の醸成を図り、平和継承活動を一層推進する必要があります。





## 4 5年後に目指す姿

本市と国際親善姉妹都市及び国内親善・友好都市との間で、市民が主体となった都市間交流が活発に行われることにより、様々な分野での協働が進み、それぞれの都市の発展に寄与しています。

平和啓発の取組や平和学習の推進などにより、戦争の悲惨さや平和の尊さについて、市民一人一人の理解が深まるとともに、次世代への継承が図られています。



日立市平和展

## 5 数値目標

「都市交流」に関する成果指標  
(市民ニーズ調査から)

項目	後期計画 (H28)	現状値 (R3)	目標値 (R8)
現在の評価	2.9	3.2	3.4
今後の重要度	3.6	3.8	

施策に関する目標指標

項目	現状値 (R3)	目標値 (R8)
国際交流事業 の参加者数	※ 4,211人(R元) 938人(R2)	4,400人
平和啓発事業 (市民団体の 主催事業を含む) の参加者数	※ 5,545人(R元) 2,531人(R2)	5,800人

※R2の実績値は新型コロナウイルス感染症の影響があるため、R元の実績値を現状値としている。

「平和」に関する成果指標  
(市民ニーズ調査から)

項目	後期計画 (H28)	現状値 (R3)	目標値 (R8)
現在の評価	3.1	3.4	3.6
今後の重要度	4.1	4.0	



## 6 目指す姿を実現するための取組

### 取組1 国際・国内都市交流の活性化

- 国際親善姉妹都市(バーミングハム市・タウランガ市)との教育・文化・経済などの各分野における交流を更に促進するため、市民や企業等との協働による青少年等の相互訪問を始め、市民団体等が行う姉妹都市交流事業への支援や積極的な情報収集・発信に努めます。
- 国内親善・友好都市(桐生市・山辺町)との友好関係を深化・継続させるため、市民が両都市の魅力を体感する機会を提供するほか、交流に関する情報提供やコーディネートを通じ、市民交流の裾野を広げる取組を進めます。



バーミングハム市青少年グループとの交流

主な事業		担当課
重点	国際交流事業	文化・国際課
	親善・友好都市交流事業	

### 取組2 平和活動の推進と次世代への継承

- 平和の尊さや命の大切さを次世代に確実に継承していくため、市民団体等による平和活動への取組を支援するとともに、太平洋戦争末期に本市が受けた悲惨な戦災を風化させないため、戦災経験者による講演会等の実施や学校等と連携した平和学習の推進などに取り組みます。



「平和への旅」青少年派遣事業  
(市内中学生の広島市派遣の様子)

主な事業		担当課
平和啓発事業		文化・国際課
日立市戦没者追悼式実施補助事業		社会福祉課

## 7 関連計画

・日立市文化振興指針(H29～R8)

## 8 主に関係する課所

文化・国際課、社会福祉課